

## 第19回 今後の治水対策のあり方に関する有識者会議 議事要旨

平成23年11月9日（水）18:00～20:15

中央合同庁舎3号館 11階特別会議室

### 【出席者】

中川座長、宇野委員、三本木委員、鈴木委員、辻本委員、道上委員、森田委員、山田委員、前田大臣、奥田副大臣、津川政務官、関水管理・国土保全局長

### 【ダム事業の検証の検討結果について】

○今回は、検討主体から国土交通大臣に報告された柵川ダム、春遠生活貯水池、大谷川生活貯水池、庄原生活貯水池の検討結果について説明を受け、有識者会議から意見等を述べた。

○委員の主な発言は以下のとおり。

- ・柵川ダムの治水対策案には、既設ダムの操作ルールの見直しが含まれているが、どのような見直しを行うのか。

[既設の内場ダムの操作規則は一定量放流方式であり、放流量を増加させることで容量を効率的に活用させようとするものである旨を香川県から聞いていることを事務局から説明。]

- ・春遠生活貯水池は、総事業費で見ると、輪中堤を含む治水対策案が現計画よりコストが低い内容となっている。本有識者会議で「中間とりまとめ」を示したことにより、これまでにあまり検討されて来なかった輪中堤のような方策を組み合わせた治水対策案が立案されたり、生活貯水池においてダム案以外の対策案を幅広く検討されたりするようになったということではないか。

- ・春遠生活貯水池の給水人口の予測について、この地域は日本有数の人口減少地域であると考えますが、将来的にどのように考慮されているか。

[今回水道計画の見直しを行っているが、将来的に人口の状況が変われば、現在対象外の区域にも導水することも考えている旨を高知県から聞いているこ

とを事務局から説明。]

- ・全国的に水道事業の広域化が行われている中で、春遠生活貯水池に関し、他の地域からの導水について検討されたのか。

[今回見直された水道計画については、地形的な制約等も考慮して検討されている旨を高知県から聞いていることを事務局から説明。]

- ・輪中堤を含む治水対策案の検討に当たっては、遊水機能による効果を考慮することが重要である。
- ・庄原生活貯水池の流域は、昨年7月に土砂災害が発生しており、対策等が検討されているが、「中間とりまとめ」第4章の「点検」を満たしていないため、見直す必要があるのではないか。この点については、今回の土砂災害は、河川整備計画の対象としている災害から見ると、異質なものである。土砂流出については、砂防事業等で対応することとされ、その効果も織り込んで報告されており、「中間とりまとめ」には抵触していないのではないか。今後、モニタリングを行い、状況に応じて必要な措置を講じることでよいのではないか。
- ・庄原生活貯水池の流域は、崩壊面積率が高いため、流域全体の状況を見てダム工事のスケジュールを考えるべきではないか。この点については、「中間とりまとめ」で示した共通的な考え方に沿って検討されたかどうかについて当有識者会議として意見を述べ、スケジュールについては行政で判断すべきことではないか。
- ・戦後、河川整備が進められて我が国の治水安全度は向上してきている。しかし、先進国と比較すると非常に低く、災害と共存する社会に我々がいることを認識していくことが重要である。
- ・堤防のかさ上げを含む治水対策案の検討に当たっては、現状の堤防敷幅の範囲でかさ上げするのではなく、たとえコストがかかっても、必要な法勾配を確保するよう堤防のかさ上げを検討することが重要である。
- ・香川県の椋川ダム、高知県の春遠生活貯水池、広島県の庄原生活貯水

池は「継続」という内容であり、岡山県の大谷川生活貯水池は「中止」という内容であった。これらは、基本的には、中間とりまとめで示した「共通的な考え方」に沿って検討されたものであると理解できる。

- ・ 高知県の春遠生活貯水池、広島県の庄原生活貯水池については、他の治水対策案とコストに大きな差がないものの、実現性を確認し、全ての評価軸により総合的に評価を行った結果、「継続」という内容で報告されている。このような状況に鑑み、事業費の縮減や事業効果の早期発現を図ることができるよう、今後とも検討を進めていくことが重要である。
- ・ 広島県の庄原生活貯水池については、昨年7月に流域内で大規模な土砂災害が発生し、それに対応するため砂防事業等が実施されているところである。このような状況に鑑み、土砂の流出について、今後とも十分に調査・検討を行っていくことが重要である。
- ・ 岡山県の大谷川生活貯水池については「中止」という内容であるが、新規利水については緊急性が高いにもかかわらず、ダムを中止した場合の対応策については検討中である。このような状況に鑑み、県は、関係利水者が行う検討に対し、今後、積極的な支援を行うことが望ましい。
- ・ 本日の有識者会議で各委員からあった質問等については、整理しておくことが重要である。必要に応じて、質問等を踏まえて、検討主体に確認し、その回答を各委員に伝えることとする。